

令和 2 年度使用教科用図書の採択について

標題の件について、次のとおり教育委員会の議決を求める。

令和 元年 7 月 25 日

富田林市教育委員会
教育長 山口 道彦

1. 内容

別添のとおり

2. 参考資料

富田林市立小学校教科用図書選定委員会答申
「令和 2 年度使用 教科用図書選定資料 小学校用」

令和元年 7 月 2 5 日

富田林市教育委員会
教育長 山口 道彦 様

富田林市立小学校
教科用図書選定委員会
委員長 大北 宗健

令和 2 年度使用小学校教科用図書の選定について（答申）

本選定委員会は、平成 3 1 年 4 月教育委員会会議において、諮問のありました「令和 2 年度使用小学校教科用図書」の選定について審議を進め、その結論を得ましたので、別添「選定資料」を添付し、答申いたします。

令和2年度使用

教科用図書選定資料

小学校用

国語	1
書写	2
社会	3
地図	4
算数	5
理科	6
生活①	7
生活②・音楽	8
図画工作・家庭	9
保健	10
英語	11
道徳	12

※教科書の配列順は発行者番号順

教科用図書選定資料								
国語								
教科書名	発行者名	書名	発行者名	書名	発行者名	書名	発行者名	書名
	東京書籍	新しい国語	学校図書	みんなと学ぶ 小学校国語	教育出版	ひろがる言葉 小学国語	光村図書	国語 かざぐるまなど
項目	所見		所見		所見		所見	
目標・内容の取扱い	- 学習指導要領に示されている目標達成のため、各教材を通じて適切な内容が取り扱われている。 - 単元を通してつけたい力が「言葉の力」として示され、また、巻頭に一覧としてまとめられている。 2つの例を示して比べ読みしたり、グラフを読み取ったりするなど、複数の情報や内容を関連付けて理解や思考を深める教材が取り扱われている。		- 学習指導要領に示されている目標達成のため、各教材を通じて適切な内容が取り扱われている。 - 単元のめあてが示され、巻頭見開きページの「つけたい力」では、一年間の学びによってつけたい力を見通すことができるようにまとめられている。 「国語のカギ」では、身につけた力を他教科や生活に活かせるように学習内容がまとめられている。		- 学習指導要領に示されている目標達成のため、各教材を通じて適切な内容が取り扱われている。 - 単元の中に「ここが大事」が設けられ、単元で身に付けた力が他の単元や他教科にも生かせるよう取り扱われている。 「話す・聞く」で、話し合いの活動例等が具体的に示されている。		- 学習指導要領に示されている目標達成のため、各教材を通じて適切な内容が取り扱われている。 - 単元を通して見通しを持って学ぶことができるよう「何を学ぶか」が示されている。また、「国語の学びを見わたそう」に、何を学ぶか、どのように学ぶか、がまとめられている。 「話す・聞く」「書く」の領域では、見通しを持って学習を進められるように、単元のはじめに学習の進め方が示されている。	
取人権扱いの	- 文章、写真、挿絵、図、資料など、人権尊重の観点から配慮されている。 - 国際理解や国際協調について、「外国のことをしょうかいしよう」「ヒロシマのうた」などの教材で適切に取り扱われている。		- 文章、写真、挿絵、図、資料など、人権尊重の観点から配慮されている。 - 国際理解や国際協調について、「あいさつのみぶりとことば」や「手で食べる、はしで食べる」などの教材で適切に取り扱われている。		- 文章、写真、挿絵、図、資料など、人権尊重の観点から配慮されている。 - 国際理解や国際協調について、「絵文字の特徴をとらえよう」や「子どもたちを救いたい」などの教材で適切に取り扱われている。		- 文章、写真、挿絵、図、資料など、人権尊重の観点から配慮されている。 - 国際理解や国際協調について、「ちいちゃんのかげおくり」「スーホの白い馬」「平和のとりでを築く」などの教材で適切に取り扱われている。	
内容の程度	- 児童にとって、興味・関心のある題材で適切な分量となっている。 - 写真、挿絵、図、表などの資料が発達段階に応じたものになっている。 「ことばあつめ」をきっかけに、さらに豊かな語彙が身につくよう、巻末に「言葉の広場」が設けられている。		- 児童にとって、興味・関心のある題材で適切な分量となっている。 - 写真、挿絵、図、表などの資料が発達段階に応じたものになっている。		- 児童にとって、興味・関心のある題材で適切な分量となっている。 - 写真、挿絵、図、表などの資料が発達段階に応じたものになっている。 「読む」教材の後に「言葉を学ぼう」「言葉を増やそう」が設けられ、豊かな語彙が身につくよう工夫されている。		- 児童にとって、興味・関心のある題材で適切な分量となっている。 - 写真、挿絵、図、表などの資料が発達段階に応じたものになっている。 - 単元の学習の中に言語活動が多く取り入れられ、「読む」から「書く」活動へとつながられている。	
組織・配列	- 指導すべき内容が、教科横断的な視点を踏まえて配列されている。 - 巻頭の「国語の学習の進め方」で年間の学習に見通しを持てるように構成されている。 「書く」の領域では、調べたことをまとめたり、それを発表したりする活動を通して、他の領域とも関連するよう配列されている。		- 指導すべき内容が、教科横断的な視点を踏まえて配列されている。 - 各学年内で「何を学ぶのか」を整理し、学びが積み重なっていくよう、教材が配列されている。		- 指導すべき内容が、教科横断的な視点を踏まえて配列されている。 「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」について年間の学習に見通しを持てるように、図式化して示されている。		- 指導すべき内容が、教科横断的な視点を踏まえて配列されている。 - 巻末に設けられた「たいせつ」のまとめで、学習の大切な点がまとめられ、学習の振り返りができるように構成されている。 - 都道府県の漢字の学習が2回に分けて学習できるよう配慮されている。	
創意工夫	- 言葉による見方・考え方を働かせ、主体的・対話的で深い学びが実現するように工夫されている。 - 情報機器や学校図書館を活用することについて適切に取りあげられている。 5・6年は合本になっていることで、教材同士を比較したり、年間の学びを振り返ったりすることができるようになっている。 - 国語のノートの作り方や原稿用紙の書き方などが設けられ、各単元の内容とあわせて、書く力の育成につながるよう工夫されている。		- 言葉による見方・考え方を働かせ、主体的・対話的で深い学びが実現するように工夫されている。 - 情報機器や学校図書館を活用することについて適切に取りあげられている。 - 学習の全体像をつかみ見通しを持って学べるように、「学習のてびき」が設けられている。 - ページ下段に、資料編「国語のカギ」との関連が示されている。		- 言葉による見方・考え方を働かせ、主体的・対話的で深い学びが実現するように工夫されている。 - 情報機器や学校図書館を活用することについて適切に取りあげられている。 「広げよう」で書く活動が多く設けられており、書く力の育成につながるよう工夫されている。		- 言葉による見方・考え方を働かせ、主体的・対話的で深い学びが実現するように工夫されている。 - 情報機器や学校図書館を活用することについて適切に取りあげられている。 5・6年は合本になっていることで、教材同士を比較したり、年間の学びを振り返ったりすることができるようになっている。 - 巻頭に前学年の学習内容が掲載され、巻末に年間の学習内容がまとめられており、前後の学年とつながるよう工夫されている。 - 説明文の学習では、短い文章で構成等の学習をした後に、長文を学習する流れとなっており、見通しを持って学習を進めることができるよう工夫されている。	
補足的な学習・発展的な学習	- Dマークがあるページでは、目次のQRコードにより、学習内容に関連する情報をウェブサイトで見ることができる。 - 巻末で、「言葉の力」の領域ごとのまとめ、漢字やローマ字のまとめ等が設けられ、振り返って学習できるよう配慮されている。 - 生活科や図画工作科など他教科と関連した教材が取り上げられている。		- QRコードのあるページでは、学習に関連する情報をウェブサイトで見ることができる。 - 資料編に、「授業で使う言葉」として学習した言葉のまとめや「国語のカギ」などが設けられ、学習を振り返ることができるよう配慮されている。		- まなびリンクのあるページでは、目次のQRコードにより、学習に関連する情報をウェブサイトで見ることができる。 - 巻末や教材に関連して設けられた「本を読もう」では、本の表紙とあらすじが掲載され、読書につながるよう配慮されている。		- QRコードのあるページでは、学習に関連する情報をウェブサイトで見ることができる。 - 巻末や「この本、読もう」では、本の表紙とあらすじが掲載され、読書につながるよう配慮されている。 - 単元で学んだことが、「いかそう」で、他の単元や他教科とつながるよう配慮されている。 - ローマ字表が3年以降毎年掲載されており、継続的な指導を行うことができるよう配慮されている。	

書 写		教科用図書選定資料								
教科書名	発行者名	書 名	発行者名	書 名	発行者名	書 名	発行者名	書 名	発行者名	書 名
	東京書籍	新しい書写	学校図書	みんなと学ぶ 小学校書写	教育出版	小学書写	光村図書	小学校 書写	日本文教出版	小学書写
項目	所 見		所 見		所 見		所 見		所 見	
目標・内容 の取扱い	・学習指導要領に定める目標達成のため学ぶべき内容が身につく、かつ効果的な学習が進められるよう、系統的・発展的に取り扱われている。 ・単元の学習事項と関連する既習事項を常に意識できるようにインデックスに示されている。 ・毎時間学習の終わりに、自己評価できる「振り返り欄」が設けられている。		・学習指導要領に定める目標達成のため学ぶべき内容が身につく、かつ効果的な学習が進められるよう、系統的・発展的に取り扱われている。 ・毎時間学習の終わりに自己評価できる「振り返り欄」が設けられている。 ・毎回のめあてが明示されており、自主的に学習に取り組みやすい。		・学習指導要領に定める目標達成のため学ぶべき内容が身につく、かつ効果的な学習が進められるよう、系統的・発展的に取り扱われている。 ・毎時間学習の終わりに、自己評価できる「ふりかえろう」が設けられている。 ・毎回のめあてが明示されており、本時の着目点・ポイントがくわしく書かれている。		・学習指導要領に定める目標達成のため学ぶべき内容が身につく、かつ効果的な学習が進められるよう、系統的・発展的に取り扱われている。 ・毎時間学習の終わりに、自己評価できる「できたかな？」「ふりかえろう」が設けられている。 ・毎回のめあて書かれており、ポイントも明示されている。		・学習指導要領に定める目標達成のため学ぶべき内容が身につく、かつ効果的な学習が進められるよう、系統的・発展的に取り扱われている。 ・毎時間学習の終わりに自己評価できる「できたかな？」が設けられている。 ・毎回のめあてが明示されており、本時の着目点・確認すべき点・生かし方などが学年に応じて明記され、自主的に学習に取り組みやすい。 ・まとめの部分では、その学年で学習する漢字がカラーで見やすくまとめられており、筆順も明記されている。	
	・「生命」「平和」「環境」「福祉」に関する題材が取り上げられている。 ・教科書に登場する人物の男女比がほぼ均等になるように配慮されている。 ・世界の文字を紹介している。		・「生命」「平和」「環境」に関する題材が取り上げられている。 ・教科書に載せられている写真の男女比がほぼ均等になるように配慮されている。		・「生命」「平和」「環境」に関する題材が取り上げられている。 ・教科書に登場する人物の男女比がほぼ均等になるように配慮されている。 ・世界の文字で「こんにちは」を紹介している。		・「平和」「環境」「福祉」に関する題材が取り上げられている。 ・教科書に登場する人物の男女比が、ほぼ均等になるように配慮されている。		・「生命」「平和」「環境」に関する題材が取り上げられている。 ・教科書に登場する人物の男女比がほぼ均等になるように配慮されている。	
内容 の 程度	・発達段階に応じて題材ごとに学習のめあてや学習内容が分かりやすく示されている。 ・お手本が原寸大で、基本点画が分かりやすく示されている。 ・硬筆の書きこめる分量が多い。		・発達段階に応じて題材ごとに学習のめあてや学習内容が分かりやすく示されている。 ・お手本が原寸大で、基本点画が分かりやすく示されている。		・発達段階に応じて題材ごとに学習のめあてや学習内容が分かりやすく示されている。 ・基本点画が分かりやすく示されている。		・発達段階に応じて題材ごとに学習のめあてや学習内容が分かりやすく示されている。 ・始筆・送筆・終筆がシールを使って学習できるようになっている。		・発達段階に応じて題材ごとに学習のめあてや学習内容が分かりやすく示されている。 ・お手本が大きく基本点画が分かりやすく示されている。 ・お手本が硬筆・毛筆の整合性に配慮した字形になっている。	
	・毛筆で学習した内容を硬筆で生かすことができるよう工夫されている。 ・他の教科と関連付けた文字の学習が取り入れられている。		・毛筆で学習した内容を硬筆で生かすことができるよう工夫されている。 ・学習のめあての確認、練習、まとめ、振り返るという学習の流れが示されている。		・毛筆で学習した内容を硬筆で生かすことができるよう工夫されている。 ・他の教科と関連付けた文字の学習が取り入れられている。		・毛筆で学習した内容を硬筆で生かすことができるよう工夫されている。 ・他の教科と関連付けた文字の学習が取り入れられている。		・毛筆で学習した内容を硬筆で生かすことができるよう工夫されている。 ・他の教科と関連付けた文字の学習が多く取り入れられている。 ・生活に活かせるように学年ごとに横書きの学習内容が取り入れられている。	
創意工夫	・正しい姿勢で学習できるよう工夫されている。 ・用具の置き方・準備・筆のおろし方・持ち方・後始末が3～6年まで丁寧に説明されている。 ・実際の筆を用いているので、穂先の位置が分かりやすい。 ・生活に生かす方法（発展学習）が多数示されている。 ・馴染みやすいキャラクターを使い、児童の関心・意欲増加に努めている。 ・教科書に硬筆で書きこめる。 ・1年に水かきシート付いている。		・正しい姿勢で学習できるよう工夫されている。 ・用具の置き方・準備・筆のおろし方・持ち方・後始末が3～6年まで説明されている。 ・実際の筆を用いているので、穂先の位置が分かりやすい。 ・生活に生かす方法（発展学習）が多数示されている。 ・馴染みやすいキャラクターを使い、児童の関心・意欲増加に努めている。 ・1・2年にポイントシールが付いている。		・正しい姿勢で学習できるよう工夫されている。 ・用具の置き方・準備・筆のおろし方・持ち方・後始末が3～6年まで丁寧に説明されている。 ・実際の筆を用いているので穂先の位置が分かりやすい。 ・教科書に硬筆で書き込める。 ・生活に生かす方法（発展学習）が多数示されている。 ・馴染みやすいキャラクターを使い、児童の関心・意欲増加に努めている。 ・1年に水かきシート付いている。		・正しい姿勢で学習できるよう工夫されている。 ・用具の置き方・準備・筆のおろし方・持ち方・後始末が3～6年まで丁寧に説明されている。 ・実際の筆を用いているので、穂先の位置が分かりやすい。 ・教科書に硬筆で書き込める。 ・生活に生かす方法（発展学習）が多数示されている。 ・馴染みやすいキャラクターを使い、児童の関心・意欲増加に努めている。 ・1年に水かきシート付いている。 ・3年にポイントシールが付いている。		・正しい姿勢で学習できるよう工夫されている。 ・用具の置き方・準備・筆のおろし方・持ち方・後始末が3～6年まで丁寧に説明されている。 ・実際の筆を用いているので、穂先の位置が分かりやすい。 ・教科書に硬筆で書き込める。 ・他の教科との関連性を持たせた書写の題材を多く取り入れている。 ・馴染みやすいキャラクターを使い、児童の関心・意欲増加に努めている。 ・全ての子どもにとって、情報を取り入れやすくするために、レイアウト・色・形においてユニバーサルデザインが取り入れられている。 ・1・2年に水かきシートが付いていて広く書きやすい。	
	・書く楽しさや、自主的に学習に取り組もうとする気持ちが持てるように、学習課題を明確にしている。 ・発展的な学習「生活に広げよう」 ・書き初めの手本がある。（長半紙） ①見つけよう ②たしかめよう ③生かそう 振り返ろう		・身近な生活と文字のかかわりが紹介されている。 ・発展的な学習 「行書」を書いてみよう 硬筆に生かそう 手紙 学級新聞 墨・和紙・筆・鉛筆が出来るまで ・書き初めの手本がある。（長半紙）		・身近な生活と文字のかかわりが紹介されている。 ・発展的な学習 観察カード お礼の手紙 新聞 ポスター 年賀状 ・書き初めの手本がある。（長半紙） ・振り返りができるようチェック欄がある。		・行書を取りあげ、中学校への接続を図っている。 ・発展的な学習 手紙 はがき 原稿用紙 ノート 新聞 ・書き初めの手本がある。（長半紙）		・書く楽しさや、自主的に学習に取り組もうとする気持ちが持てるように、見通しを持たせ、学習課題を明確にしている。 ・発展的な学習 学びを日常に生かす力に 横に書くとき お礼の手紙 ・書き初めの手本がある。（長半紙） ・振り返りができるようになっている。 ①考える ②確かめる ③いかす できたかな？	

社会		教科用図書選定資料				
教科書名	発行者名	書名	発行者名	書名	発行者名	書名
	東京書籍	新しい社会	教育出版	小学社会	日本文教出版	小学社会
項目	所見		所見		所見	
目標・内容の取扱い	・学習指導要領に定められた目標達成のために、小单元ごとに学習問題を設け、効果的に学習が進められるよう系統的・発展的に取り扱われている。 ・今日的な課題を取り上げており、これからのグローバル社会に必要な主体性や、平和で民主的な社会の形成者として必要な資質・能力を育成できる内容となっている。		・学習指導要領に準拠した教材が掲載されている。特に、社会の変化や今日的課題が反映されており、そうした課題に自ら対応する資質や能力を育成する視点から問題解決型の学習が進められるようになっている。		・学習指導要領に示された内容を全て網羅し、内容の定着のため、キーワードや重要語句が太字でしめされている。 ・問題解決型の授業展開ができるよう最初に課題の提示がされている。	
人権の扱い	・琉球文化・アイヌ文化の歴史や現在における課題について掲載している。 ・6年の歴史編では、厳しく差別されてきた人々のことや女性の権利獲得にむけての動き、朝鮮の強制労働についての記載がある。 ・6年の政治・国際編では、はじめに基本的人権を取り上げ、自治体での人権啓発活動の取組みなどを紹介している。 ・3年「店ではたらく人」の単元では、身体の不自由な人にも配慮した店づくりをしていることに気付かせる内容となっている。		・アイヌ民族やハンセン病、障がいのある人、在日外国人に対する差別問題などの記述が詳しく、障害者差別解消法も掲載している。 ・6年の教科書でパラリンピックのウィルチェアー（車いす）ラグビーの後、バリアフリーの話（わたしたちのくらし）が展開されており、人権学習にも取り組みやすい。 ・3年の教科書では、店ではたらく人々や公共施設の学習で高齢者の立場に立った考え方ができるように促している。		・障がいのある人の姿やユニバーサルデザイン、バリアフリー化された施設、パラリンピックに関する記載がある。 ・同和問題については、6年の政治・歴史単元において近世の幕藩体制下における身分制度を中心に中世・近世・現代を通して位置づけられている。	
内容の程度	・児童が興味・関心を高め、深めるために随所に発展的内容「ひろげる」を設け、知識を応用、活用できるよう工夫されている。 ・日本の自然・文化遺産を愛する心を育むように多様に掲載されている。 ・防災教育に関連した教材（5年自然災害を防ぐ、6年震災復興）も掲載されている。 ・情報モラルについての内容も記載されている。 ・4年では、地図の使い方について詳しく書かれている。		・3年生で市町村を学び、4年生で都道府県に発展させる形で構成されている。 ・「ひろげる」では、補足的資料が用意され、学習した内容をさらに深め発展できるように工夫されている。 ・工業で堺市や東大阪市、なにわの伝統野菜などが取り上げられており、児童が興味を引く内容となっている。		・歴史の導入で想像図が掲載されていることで、児童がその当時の様子を想像しやすいよう工夫されている。 ・自然災害のところで南海トラフの資料が掲載されている。 ・3年「地域の変化」、4年「水」「ガス」、5年「中小工場」「環境」、6年「行基」の学習で大阪の教材が取り上げられており、児童が興味を引く内容となっている。	
組織・配列	・問題解決的な学習を展開できるように「課題」「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」で構成されている。また、それが全ページにわたり表記されており、単元の流れを意識して学習することができる。 ・5年の食料生産では、児童の興味のある給食や広告から導入され、日本の主食でもある米作りにつなげられている。		・「まとめる」では、その単元のキーワードを用いてまとめる内容になっており、学習を振り返りやすい。 ・選択できる単元における選択肢が多めに用意されている。		・登場人物が話し合っている場面が多く児童が学び合うことを大事にしている。 ・自分たちのできることを考える場面では漫画で設定されていて、考えていく工夫がされている。	
創意工夫	・「社会的な見方・考え方」を空間・時間・相互関係のどの観点を働かせて考えるのかをキャラクターが投げかけてくれることで学びが深まる仕組みになっている。 ・「まとめる」場面では、多様な表現方法が提示されている。また、学習課題が明確に提示されていて、単元で大切なことばを「ことば」コーナーに示しているので、学習を深化させていける。 ・歴史の学習では、時代ごとに年表がページ端に提示されており、学習している時代を把握しやすいよう工夫されている。 ・「いかす」のコーナーでは、随所に社会的な見方、考え方を促すような課題が設定され、児童が自主的に活動しやすいようにイラストなどで学習の様子が提示されている。 ・写真や資料が豊富に用意されている。		・最近のノーベル書受賞や東日本大震災、熊本地震など、最近の出来事を掲載している。 ・「まなびリンク」マークのところは、ウェブサイトでの学習に役立つ情報をみることができる。 ・歴史の学習では、時代ごとに年表がページ端に提示されており、学習している時代を把握しやすいよう工夫されている。 ・フォントにUDデジタル教科書体を使用している。 ・「問い」から展開していく流れを重視し、最後に次の時間の「問い」につながるような投げかけがあるため、内容につながりがある。 3・4年生ではその時間の学習活動についての明記もされている。		・「空間」「時間」「関係」の三つの視点について詳しく示されており、「見方・考え方コーナー」では空間、時間、関係の見方をきちんと表記して考えさせるようになっている。 ・単元の最後にノートへのまとめ方や新聞づくりなど紹介されている。 ・歴史の学習では、時代ごとに年表がページ端に提示されているなど、学習している時代を把握しやすいようになっている。 ・写真や表などの資料を大きく掲載している。	
補足的な学習・発展的な学習	・社会に参画、提案できるように、「いかす」という場面を設定しており、自らが主体的に社会に参加する必要性を感じる内容となっている。 ・「ひろげる」では、先人の功績や文化遺産、現代の課題や取組みを紹介しており、発展的な学習に繋がるよう工夫されている。 ・「Dマーク」があるページでは、学習に役立つ情報をウェブサイトで見ることができる。		・「ひろげる」という発展的内容も用意されており、先人の功績や世界との関わり、環境など、現在の社会と結びつけて考えていく内容となっている。 ・「まなびリンク」があるところでは、学習に役立つ情報をウェブサイトで見ることができる。		・「わたしたちの学びを活かそう」という発展のコーナーでは、児童が自主的に調べて学びを深める内容となっている。 ・児童の実態に合わせた学習展開ができる「せんたく」教材が豊富である。 ・「デジタルマーク」があるページでは、学習に役立つ情報をウェブサイトで見ることができる。	

地図		教科用図書選定資料		
教科書名	発行者名	書名	発行者名	書名
	東京書籍	新しい地図帳	帝国書院	小学生の地図帳
項目	所見		所見	
目標・内容の取扱い	・学習指導要領に定められた目標達成のために必要な内容がまとめられている。 ・初めて利用する３年生からも親しみやすいように記載内容を精選し、イラストや写真を掲載している。 ・巻末の統計資料や索引が見やすく整理されている。		・学習指導要領に定められた目標達成のために必要な内容が適切にまとめられ、興味関心をもって学習できるように工夫されている。 ・初めて利用する３年生からも親しみやすいように記載内容を精選し、イラストを多数掲載している。 ・索引の見方について丁寧に説明されている。	
取人権の扱い	・沖縄の土地利用、アイヌ語が語源の地名についての記述がある。 ・世界地図のページでは、動物や料理についてのコーナーがあり、国の特徴や多様な文化について考えることができる。		・世界地図のページでは、「集まれ！世界の子もたち」で主だった国の特徴などを写真と共に掲載しており、国際理解や多様な言語について考えることができる。 ・世界地図には、主だった外国語のあいさつが書かれている。	
内容の程度	・日本の領土についての説明と写真の掲載が見開き１ページにまとめられている。 ・首都東京の地図を３ページにわたって見開きで詳しく掲載している。		・日本の領土についての説明と写真の掲載が見開き１ページにまとめられており、あわせて北方領土・竹島・尖閣諸島を日本固有の領土として写真付きで掲載している。 ・各学年の学習内容に応じた資料や地図が豊富で非常に活用しやすい内容となっている。	
組織・配列	・地図についての学習のページが最初に多く掲載されている。 ・拡大地図では、その地方の有名な場所について写真付きで掲載している。		・広く見渡す地図と詳しく見る地図に分けられており、それぞれの目的に応じた縮尺の地図が用いられている。縮尺に合わせてタイトルの色も変えられており、地方名の索引も文字が大きく見やすい。	
創意工夫	・ところどころにキャラクターを入れており、それぞれのコメントが地図帳を活用して調べる際の手がかりとなっている。		・地図の中にさまざまなイラストがのせられており、その場所の特徴などをわかりやすく説明している。 ・「地図マスターへの道」のコーナーでは、地図の見方の技能や知識を獲得できる。	
補足的な学習・発展的な学習	・世界地図では、それぞれの場所の動物や食べ物についての記載がある。 ・土地、気候、産業、貿易、世界とのかかわり、文化遺産、国旗などの資料のページが掲載されている。 ・児童の視点に立ったキャラクターのセリフが多く用いられており、児童自らが着目したり考えたりできるように工夫されている。		・地図についての説明や使い方（方角、記号、縮尺など）の説明に多くのページを使用している。 ・土地や気候、防災、産業、貿易、文化遺産、国旗などの資料のページが多く掲載されいる。 ・児童の視点に立ったキャラクターのセリフが用いられており、児童自らが着目したり考えたりできるように工夫されている。 ・都道府県別の統計にふるさと自慢という項目があり、都道府県の伝統芸能や料理、観光地などが記載されている。	

算数		教科用図書選定資料										
教科書名	発行者名	書名	発行者名	書名	発行者名	書名	発行者名	書名	発行者名	書名	発行者名	書名
	東京書籍	新編 新しい算数	大日本図書	新版 たのしい算数	学校図書	みんなと学ぶ 小学校算数	教育出版	小学算数	啓林館	わくわく算数	日本文教出版	小学算数
項目	所見		所見		所見		所見		所見		所見	
目標・内容の取扱い	・算数科の目標達成に必要な内容が盛り込まれており適切である。 ・各単元において数学的活動や、問題解決的な学習形態が数多くとりいれられており、活用力、表現力の育成にも目が向けられている。		・算数科の目標達成に必要な内容が盛り込まれており適切である。 ・数学的活動を取り入れ、自主的・自発的な学習ができるように工夫されている。		・算数科の目標達成に必要な内容が盛り込まれており適切である。 ・数学的活動を取り入れ、自主的・自発的な学習ができるように工夫されている。		・算数科の目標達成に必要な内容が盛り込まれており適切である。 ・数学的活動を取り入れ、自主的・自発的な学習ができるように工夫されている。		・算数科の目標達成に必要な内容が盛り込まれており適切である。 ・数学的活動を取り入れ、意欲を持って学習を進めるよう工夫されている。		・算数科の目標達成に必要な内容が盛り込まれており適切である。 ・数学的活動を取り入れ、意欲を持って学習を進めるよう工夫されている。	
取人権の扱い	・人権尊重、生命尊重、平和の希求の観点で、適切な表現がなされている。 ・挿絵や資料に登場する人物名は男女平等の観点に配慮されている。 ・世界のわり算を紹介し、国際理解につながる素材を扱っている。		・人権尊重、生命尊重、平和の希求の観点で、適切な表現がなされている。 ・児童の登場場面が男女平等になるように配慮されている。 ・登場人物が多種多様な民族である。		・人権尊重、生命尊重、平和の希求の観点で、適切な表現がなされている。 ・男女共生の観点に立った挿絵や写真が使われている。		・人権尊重、生命尊重、平和の希求の観点で、適切な表現がなされている。 ・登場する男女のバランス等が配慮されている。		・人権尊重、生命尊重、平和の希求の観点で、適切な表現がなされている。 ・登場する男女のバランス等が配慮されている。		・人権尊重、生命尊重、平和の希求の観点で、適切な表現がなされている。 ・男女共生の観点に立った挿絵が使われている。 ・男女共生の観点から呼称が「さん」づけである。	
内容の程度	・各学年の発達段階に応じた内容であり、適切である。 ・各学年の指導内容に加え「いかしてみよう」「たしかめよう」「つないでいこう」のコーナーなど、日常生活に生かす工夫がされている。		・各学年の発達段階に応じた内容であり、適切である。 ・児童が学習内容を振り返り、定着を図るとともに、その後の学習をさらに生かしていけるように、「さんすうたまてばこ」を設けている。		・各学年の発達段階に応じた内容であり、適切である。 ・各学年の指導内容に加え、「まなびをいかそう」「深めよう」では、総合的・探究的学習ができるように配慮されている。		・各学年の発達段階に応じた内容であり、適切である。 ・巻末の「ふり返ろう」「たしかめよう」では、ふりかえり問題と確認問題を設定し、単元の理解がされやすいように配慮されている。		・各学年の発達段階に応じた内容であり、適切である。 ・「わくわく算数広場」を設定し、作業的な活動や身の回りからの算数探しなど、日常の場面に算数を活用する場を設けている。		・各学年の発達段階に応じた内容であり、適切である。 ・「なるほど算数」では、単元の内容をいかして数学的活動を行い、より学習を深めていけるようにしている。	
組織・配列	・各学年の発達段階や目標に応じた組織配列がなされており、適切である。 ・基礎的・基本的内容について十分な指導ができ、その定着も図ることができるように分量が適切に配分されている。 ・操作活動の図が分かりやすく提示されている。 ・1年生の教科書の単元1・2がA4別冊になっている。またノート型になっているため児童が教科書に記載しやすくなっている。 ・5年生の「単位量」の学習後に「速さ」の単元が入っているため、学習しやすくなっている。 ・6年生の上下巻を合本にし、一年間を見通して、予習や復習ができるように改善された。		・各学年の発達段階や目標に応じた組織配列がなされており、適切である。 ・基礎的・基本的な内容が身に付くように分量が配分されている。 ・操作活動の図が分かりやすく提示されている。 ・全学年の上下巻を合本し、一年間を見通して、予習や復習ができるようにしている。		・各学年の発達段階や目標に応じた組織配列がなされており、適切である。 ・5・6年生の上下巻を合本し、一年間を見通して、予習や復習ができるようにしている。 ・前の学年で見つけた見方・考え方を領域別にまとめている。		・各学年の発達段階や目標に応じた組織配列がなされており、適切である。 ・学習のめあてが分かりやすく表記され、児童が進んで取り組めるようにしている。 ・5・6年生の上下巻を合本し、一年間を見通して、予習や復習ができるようにしている。		・各学年の発達段階や目標に応じた組織配列がなされており、適切である。 ・5・6年生の上下巻を合本し、一年間を見通して、予習や復習ができるようにしている。 ・内容のまとまりごとに「めあて」を明示したり、学習の流れを「見える化」したりすることで、学習が焦点化され、自らめあてをもって取り組める。		・各学年の発達段階や目標に応じた組織配列がなされており、適切である。 ・5・6年生について、上下巻に分けられており、一冊の分量を少なくしている。 ・5年生の「単位量」の学習後に「速さ」の単元が入っているため、学習しやすくなっている。	
創意工夫	・ノート指導のコーナーを設けて、分かりやすいノートのまとめ方等についてもふれられている。 ・数学的な見方・考え方を可視化しており、深い学びがしやすいように工夫されている。 ・問題解決的な学習形態が数多くとりいれられており、児童が主体的に学習に取り組むこと、集団で解決することなどが大切にされている。 ・習熟度に応じて、解きやすいように、練習問題に色がつけられている。		・ノート指導のコーナーを設けて、分かりやすいノートのまとめ方等についてもふれられている。 ・毎時の学習のめあてを二学年以上の全時間に設定されている。 ・学習の振り返りがしやすいように、リンクマークが設置されているため、忘れたときや、振り返りたいときに該当ページを参照できる工夫がされている。 ・習熟度に応じて、解きやすいように、練習問題に色がつけられている。		・ノート指導のコーナーを設けて、分かりやすいノートのまとめ方等についてもふれられている。 ・目次とともに、単元のつながりが分かりやすく表記されている。 ・前の学年で見つけた見方・考え方を領域別にまとめている。 ・6年間を通して身につけたい見方・考え方をキャラクター化している。		・ノート指導のコーナーを設けて、分かりやすいノートのまとめ方等についてもふれられている。 ・単元導入では、身近な題材から算数の問題を発見し、目的意識をもって数学的活動に取り組めるようになっている。 ・各領域を貫く数学的な見方に焦点を当てる「算数のミカタ」があり、新たな見方を獲得したときや、見方を拡張したいときに繰り返し参照できるようになっている。		・ノート指導のコーナーを設けて、分かりやすいノートのまとめ方等についてもふれられている。 ・「みんなでつくろうわくわく算数学習」では、学習の進め方をわかりやすく示している。 ・めあてにつながる「学びのめばえ」が添えられ、学習の流れがつかみやすくなっている。		・ノート指導のコーナーを設けて、分かりやすいノートのまとめ方等についてもふれられている。 ・教室での学習場面を模した紙面構成で問題解決学習の流れがまとめられている。 ・データ活用 のPDCAサイクルを活用する単元が、絵を用いてわかりやすく示されている。	
発展的な学習・補充的な学習	・巻末に補充問題のコーナーを設けて、定着練習ができるようになっている。 ・「生かしてみよう」「たしかめよう」「つないでいこう」のコーナーで数学的な見方・考え方を日常の生活で生かす場を設けている。また学びを算数・数学の世界で生かす場も設けている。 ・Dマークにより、インターネットでの学習を行いやすくしている。 ・家庭学習でも保護者と共に復習ができるように配慮されている。		・「わくわく算数」等のコーナーでは、学習したことを基にして取り組み、算数への興味・関心が高められるように活動や問題が設定されている。 ・「もっと算数たまてばこ」では習熟の程度に応じて選択できるようにしている。 ・「おうちでさんすう」を1～3年生に新設しており、ウェブサイト で学習したことを復習しやすく工夫されている。保護者向けのサポートページも設けている。		・中学数学に興味を持てるように、6年生のみ別冊がつけられている。 ・学年のまとめとして、総合問題と領域別のまとめを設けている。 ・「活動！！アクティブ！！」では主体的・対話的で深い学びが実現できるような授業の流れになっている。		・「まなびリンク」では、教科書の内容と連動し、シミュレーションや動画などを使って効果的に学習が進められるようになっている。 ・既習の内容を巻末にまとめられており、系統を意識して学べるとともに、わからない箇所があればいつでも参照できるようになっている。		・「学びを生かそう」や「数学への扉」等で発展的な内容を扱っている。 ・「ひろがる算数」では算数が様々な職業につながっていることが実感できる内容を紹介している。		・「Hello!Math」では、学習を生活場面に生かし数学的活動を行えるようになっている。 ・「つなげる算数」では既習事項を統合的に見直し、理解を深められるようになっている。	

理科		教科用図書選定資料								
教科書名	発行者名	書名	発行者名	書名	発行者名	書名	発行者名	書名	発行者名	書名
	東京書籍	新しい理科	大日本図書	たのしい理科	学校図書	みんなと学ぶ 小学校理科	教育出版	未来をひらく小学理科	啓林館	わくわく理科
項目	所見		所見		所見		所見		所見	
目標・内容の取扱い	・学習指導要領に定められた目標が達成できるよう、必要な内容が適切にまとめられている。 ・問題解決に必要な力を養うために、その過程や進め方を、巻頭の「理科の学び方」で示している。		・学習指導要領に定められた目標が達成できるよう、必要な内容が適切にまとめられている。 ・問題解決に必要な力を養うために、その過程や進め方を、巻頭の「理科の学び方」で示している。 ・主体的・対話的な問題解決の活動のくり返しにより深い学びにつなげるとともに、育成する資質・能力が更に伸びるよう十分配慮されている。		・学習指導要領に定められた目標が達成できるよう、必要な内容が適切にまとめられている。 ・問題解決に必要な力を養うために、その過程や進め方を巻頭の「科学の芽を育てよう」で示している。		・学習指導要領に定められた目標が達成できるよう、必要な内容が適切にまとめられている。 ・問題解決に必要な力を養うために、その過程や進め方を、巻頭の「学習の進め方」で示している。 ・主体的・対話的な学びにおいて、子どもが話し合う場面を充実させた構成になっている。		・学習指導要領に定められた目標が達成できるよう、必要な内容が適切にまとめられている。 ・問題解決に必要な力を養うために、その過程や進め方を、巻頭の「自然の不思議を、とき明かそう!」で示している。	
取人扱権いの	・登場する児童については、イラスト・写真ともに男女がほぼ均等になるように配慮されている。 ・車いすを使用している児童や外国にルーツをもつ児童が活動する様子を取り上げ、多様な児童が協力して学ぶことができるよう配慮されている。		・登場する児童については、イラスト・写真ともに男女がほぼ均等になるように配慮されている。 ・生物教材を扱うにあたって配慮すべき内容については「かんきょう」マークをつけて掲載するなど配慮されている。		・登場する児童については、イラスト・写真ともに男女がほぼ均等になるように配慮されている。 ・表紙の科学者や職業などを紹介する場面では、男女や国内外の偏りが無いよう配慮されている。		・登場する児童については、イラスト・写真ともに男女がほぼ均等になるように配慮されている。 ・外国にルーツをもつ児童が登場したり、障がいのある児童と一緒に活動を行う様子が描かれたりしており、多様な仲間とともに学ぶことについて配慮されている。		・登場する児童については、イラスト・写真ともに男女がほぼ均等になるように配慮されている。 ・環境に関する内容には「自然を大切に」マークを設け、環境への意識づけを行っている。	
内容の程度	・A4判を採用しており、1ページに実験の流れや手順、図が配置されており基礎的・基本的内容が理解できるよう簡潔にまとめられている。 ・単元のはじめには、楽しく学習を始めることができるよう導入部分があり、課題を明確にして学習に進むことができる内容となっている。 ・「レベルアップ理科の力」では、予想を立てる思考の流れや、考察の助けになるような一連の流れが示されており、学習を深めることにつなげている。		・各単元の流れで「問題→予想→計画→実験・観察」を見開き1ページで示し、次の見開きでは「結果→考察→わかったこと」の流れで構成されており、多くの単元で同じ流れで考えられる内容になっている。 ・身近な場面で課題が設定されており、児童が考えやすい内容となっている。		・実験の課題設定に対して、理由を元に結果を簡潔に示すことや、科学と生活を関連つけた資料で学習に取り組むことができ、児童が理解しやすい内容となっている。 ・各単元において、学習する重要語句をわかりやすく太字にし、学習の中心をとらえやすい内容となっている。		・課題を「見つけよう」と表現し、児童が課題を理解しやすいようになっており意欲をもって学習に進むことができる内容になっている。 ・巻末の「〇年で学んだこと」で重要語句を取りあげ学習の中心をとらえやすい内容となっている。		・生活と科学との関連が単元の初めに分かりやすく示されており、課題をつかんで学習に取り組みやすいよう配慮されている。 ・学習したことを生活に結びつける「理科の広場」があり、学習を深め生活に生かすことができる内容となっている。	
組織・配列	・「学びをつなごう」のページにより、中学年から高学年まで、既習事項との縦系列が頭の中で整理できるなど、思考の連続性が大切にされている。 ・実験の手順や結果が写真やイラストを効果的に用いて大きく鮮明に示され理解しやすい。 ・季節に合った単元の配列がなされており、児童の思考の流れに沿って学習を進めることができる単元構成になっている。		・実験の手順や結果が精選された写真やイラストを用いて示されており、すっきりとしたレイアウトで表現されている。 ・季節に合わせて単元が配列されており、学習指導の流れがわかりやすいよう気温や気象に沿った単元構成となっている。		・学校内で実験や観察が難しい単元では、写真を多く配置するなど、学習と自然との関連付けがされている。 ・学期毎に学習する単元が順に構成されており、必要に応じて学習指導の入れ替えがしやすい流れになっている。		・各単元の初めには、既習学習とのつながりが示されており、系統立てて学習に取り組むことができるようになっている。 ・実験の様子や話し合い活動での場面を想像しやすいようにイラストを用い、科学的思考を養うための配慮がされている。		・季節にあった単元の配列がなされており、学習の流れに配慮された配列で、児童の思考の流れに沿って学習を進めることができる単元構成となっている。 ・イラストや写真は、身近なものが使用されており、児童の日常生活に密接した形で思考の形成ができるようになっている。 ・各単元の初めには、既習学習との関連を示し単元の終わりには、「つなげよう」で生活につなげ、社会の中で見られる科学との関連が示されている。	
創意工夫	・予想しよう、計画しよう、考察しようなどでは、活発な話し合い活動ができるよう工夫されている。 ・実験の説明には準備物一覧とそのチェック欄があり実験を始める前に確認しやすくなっている。 ・ノートの書き方や話し合いの仕方など、言語活動に関わる内容を巻末に掲載するなど、言語活動の充実に配慮された工夫がされている。 ・「子どもの育ち方」などの付録が巻末についているなど、理科への興味関心、理解力を高める工夫がされている。 ・巻末に資料として学習の進め方や実験道具の使い方、観察や顕微鏡の使い方などが掲載されており、いつでも調べたり、見直したりしやすくなっている。		・「見つけよう」「調べよう」「伝えよう」の問題解決の活動の中で、働かせたい学び方や見方・考え方についてキャラクターの吹き出しでヒントを示している。 ・単元末の「確かめよう」「学んだことを生かそう」では、学習内容をもとに説明する問題が多く、言語活動の充実が図られている。 ・巻末には、学年のまとめやチャレンジ問題、次学年の学習内容の紹介が記載されており、興味や理解力を高める工夫がされている。		・表紙に科学者の写真を載せることで理科らしさを印象つけるインパクトある工夫がされている。また裏表紙には、表紙の科学者の言葉を載せることで、科学への興味関心を高める工夫がされている。 ・単元の始めに見通しがもてるよう着目するポイントについての説明や興味をひく内容が書かれている。 ・実験に使用する道具のチェック欄がある。 ・注意や大切な言葉を欄外に書くことで、見やすい工夫がされている。		・裏表紙に、実験観察する際の注意事項がイラストで書かれおり、正確に、安全に実験できるように工夫されている。 ・児童の理解を助けるため、登場人物のイラストや写真を多く入れるなどの工夫がされている。 ・話し合い活動が活発になるよう、予想や理由などを登場人物同士が伝え合う様子がイラストを交えて示されている。		・児童のノートやワークシートのまとめ方の例が多く示されており、児童が自分でまとめる際のヒントとして活用できるよう工夫されている。 ・問題をつかむ場面、予想や計画を立てる場面では、「話し合う」手立てを多く示すなど、コミュニケーション能力を培うよう配慮している。 ・実験や観察の準備物一覧とそのチェック欄があり、実験を始める前に確認しやすくなっている。 ・理由を説明する問題や記述式の問題が多くあり、言語活動の充実が図られている。 ・巻末に「さくいん」と「雲の観察カード」など付録が付いており、調べたい時に有効に活用できるように工夫されている。	
補足的な学習・発展的な学習	・単元末の「たしかめよう」では、知識・理解、技能、思考・表現の観点に応じた問題が掲載されており、学習内容の定着がなされるよう構成されている。 ・単元末の「学びをつなごう」では、他学年で既習事項が問題形式で記載されており、これまでの学習を振り返ることができるようになっている。 ・「理科のひろば」では、児童の興味関心を広げ、理解を深めることができるようになっている。 ・「インターネット」マークがあるところでは、学習に役立つ情報をウェブサイトで見ることができる。		・「理科のたまてばこ」には、学習内容が実生活とどのように関連しているのかなどの興味深い発展的内容が示されている。 ・「サイエンスワールド」では、4～6年生や中学校の学習事項を紹介されている。 ・「たのしい理科ウェブ」マークがあるところでは、学習に役立つ情報をウェブサイトで見ることができる。		・学習指導要領外の内容は、マークを使って区別して書かれており、子どもたちの興味・関心を高めるための配慮がされている。 ・単元末の「まとめてみよう」では、学習内容を振り返りながら、できるようになったことを意識できるように配慮されている。 ・QRコードがあるところでは、学習に役立つ情報をウェブサイトで見ることができる。		・アトムのキャラクターを使用し、キャラクターの吹き出しによって、学習の流れや問題解決のための必要な観点が示されている。 ・「チャレンジ」により、他学年や中学生で扱う発展的な内容に関する興味を高めるような実験が提示されている。 ・「まなびリンク」があるところでは、学習に役立つ情報をウェブサイトで見ることができる。		・単元末の「つなげよう」では、学んだことが実生活や社会とどう繋がっているのかということがイラストや写真とともに紹介されている。 ・「活用しよう」では発展的な興味深い実験や調査、ものづくりやゲームが数多く提示されている。 ・プログラミング教育に対応した「プログラミングシール」などが付属しており、補充・発展学習に有効である。 ・QRコードがあるところでは、学習に役立つ情報をウェブサイトで見ることができる。	

生活①		教科用図書選定資料								
教科書名	発行者名	書名	発行者名	書名	発行者名	書名	発行者名	書名	発行者名	書名
	東京書籍	あたらしいせいかつ	大日本図書	たのしいせいかつ	学校図書	みんなのまなぶ しょうがっこうせいかつ	教育出版	せいかつ	光村図書	せいかつ
項目	所見		所見		所見		所見		所見	
の目標・内容 の取扱い	・生活科の目標達成に適切な内容が掲載されている。 ・自分と身近な人々、地域、自然とのかかわりに関心を持ち、学習を進められる。		・生活科の目標達成に適切な内容が掲載されている。 ・自分と身近な人々、地域、自然とのかかわりに関心を持ち、学習を進められる。		・生活科の目標達成に適切な内容が掲載されている。 ・自分と身近な人々、地域、自然とのかかわりに関心を持ち、学習を進められる。		・生活科の目標達成に適切な内容が掲載されている。 ・自分と身近な人々、地域、自然とのかかわりに関心を持ち、学習を進められる。		・生活科の目標達成に適切な内容が掲載されている。 ・自分と身近な人々、地域、自然とのかかわりに関心を持ち、学習を進められる。	
取人 扱権 いの	・人権尊重の観点から、文章、写真、挿絵、図や資料などが適切に扱われている。 ・すべての子どもにとって使いやすいくわかりやすいように、レイアウトや図の配色などが配慮されている。		・人権尊重の観点から、文章、写真、挿絵、図や資料などが適切に扱われている。 ・すべての子どもにとって使いやすいくわかりやすいように、レイアウトや図の配色などが配慮されている。		・人権尊重の観点から、文章、写真、挿絵、図や資料などが適切に扱われている。 ・すべての子どもにとって使いやすいくわかりやすいように、レイアウトや図の配色などが配慮されている。		・人権尊重の観点から、文章、写真、挿絵、図や資料などが適切に扱われている。 ・すべての子どもにとって使いやすいくわかりやすいように、レイアウトや図の配色などが配慮されている。		・人権尊重の観点から、文章、写真、挿絵、図や資料などが適切に扱われている。 ・すべての子どもにとって使いやすいくわかりやすいように、レイアウトや図の配色などが配慮されている。	
内容 の 程度	・写真やイラストが効果的に活用されており、学びの動機づくりに役立つよう工夫されている。 ・発達段階に即して、子どもの興味・関心や行動範囲が広がるように構成されている。		・写真やイラストが効果的に活用されており、学びの動機づくりに役立つよう工夫されている。 ・発達段階に即して、子どもの興味・関心や行動範囲が広がるように構成されている。		・写真やイラストが効果的に活用されており、学びの動機づくりに役立つよう工夫されている。 ・発達段階に即して、子どもの興味・関心や行動範囲が広がるように構成されている。		・写真やイラストが効果的に活用されており、学びの動機づくりに役立つよう工夫されている。 ・発達段階に即して、子どもの興味・関心や行動範囲が広がるように構成されている。		・写真やイラストが効果的に活用されており、学びの動機づくりに役立つよう工夫されている。 ・発達段階に即して、子どもの興味・関心や行動範囲が広がるように構成されている。	
組織・配 列	・スタートカリキュラムとして活用できる内容が取り扱われている。 ・「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」が具体的に描かれている。 ・生活科を中心に他教科との関連した学習活動が示されている。子ども園の体験や学びが1年生の学習につながるよう工夫されている。 ・「課題の設定」「情報収集」「整理・分析」「まとめ・表現」という探究過程が段階的に展開されており、子どものことばで提示されている。		・スタートカリキュラムとして活用できる内容が取り扱われている。 ・季節に沿った大単元構成で、子どもの意識に即した無理のない活動展開を提示している。 ・他教科との関連を意識し、総合的・関連的学習が効果的な場合は、教科のマークを示している。 ・道徳との関連を意識し、人との関わり方を紹介している。		・スタートカリキュラムとして活用できる内容が取り扱われている。 ・見通しをもって学べるように、目次に1年間の学習の流れと時期が提示されている。 ・「どきどき」「いきいき」「ふむふむ」「にこにこ」の単元構成になっており、気づきを促し、より深く考えられるように提示されている。		・スタートカリキュラムとして活用できる内容が取り扱われている。 ・学習の流れが子どもにも保護者にも担任にもわかりやすく示されている。 ・総合的な指導を図ることができるよう、教科マークが付されている。		・スタートカリキュラムとして活用できる内容が取り扱われている。 ・「ホップ」（導入・みつける）「ステップ」（展開）「ジャンプ」（振り返り・発展・おもしろい・これからにつなげる）という、単元構成が繰り返されていることで、学習の見通しを持ちやすく、子ども自身の力で単元を展開できる可能性がある。	
創意 工夫	・巻末の「ポケット図鑑」では、実際の大きさと花や葉が描かれていたり、様々な種類のどんぐりが紹介されていたり、子どもが意欲的に観察できるように工夫されている。 ・気づいたことをよりよく考え、表現するための多様な学習活動例が提示されている。 ・ワークシートやICT機器を使用した発表や活動する場の設定の様子などが多く示されている。		・「せいかつのことば」を子どもの具体的活動と共に随所に提示している。互いを認め合いながら適切なことばで伝え合いができるよう「きらきらことば」を提示している。 ・興味・関心を高めるような活動を具体的に例示したり、吹き出しを使って思考や気づきを表現したりしている。		・自ら課題をもって学べるように、「まなびかたずかん」がある。 ・子どもたちのノートやワークシートが充実するよう、ものしりノートで書き方や書く内容を提示している。 ・国語と連携して感想文や観察文を書けるようにしている。		・「学びのポケット」で思考ツールや考え方、伝え合い方などが提示されている。総合的な学習への接続が意識されている。 ・「まんぞくハシゴ」で継続的に学習の振り返りを行い、自分の学習の記録として活用できる。		・巻末のシールを使って1年間の学習を振り返り、自分自身の成長について考えることができる。 ・理科や社会の学習につながるよう配慮している。	
補 充 的 な 学 習 ・ 発 展 的 な 学 習	・学習した内容を確実に習得できるよう、学習の内容や過程などを振り返ることができるよう配慮されている。 ・巻末の「かつどうべんりてちょう」では、生活習慣や人との接し方、学び方などが掲載されている。		・学習した内容を確実に習得できるよう、学習の内容や過程などを振り返ることができるよう配慮されている。 ・子どもの成長段階に合わせたワークシートが提示されている。 ・子どもが気づきを深めたり、学習活動を発展させたりできるような資料を随所に提示している。		・学習した内容を確実に習得できるよう、学習の内容や過程などを振り返ることができるよう配慮されている。 ・課題解決型の活動を提示しており、総合的な学習の素地を養えるように工夫している。		・学習した内容を確実に習得できるよう、学習の内容や過程などを振り返ることができるよう配慮されている。		・学習した内容を確実に習得できるよう、学習の内容や過程などを振り返ることができるよう配慮されている。 ・主体的な学びをめざして、「どうすればよいか」の問いとそのヒントが提示されている。	

生活②教科用図書選定資料				
教科書名	発行者名	書名	発行者名	書名
	啓林館	わくわくせいかつ上 いきいきせいかつ下	日本文教出版	わたしとせいかつ
項目	所見		所見	
目標・内容の取扱い	・生活科の目標達成に適切な内容が掲載されている。 ・自分と身近な人々、地域、自然とのかかわりに関心を持ち、学習を進められる。		・生活科の目標達成に適切な内容が掲載されている。 ・自分と身近な人々、地域、自然とのかかわりに関心を持ち、学習を進められる。	
取人権扱いの	・人権尊重の観点から、文章、写真、挿絵、図や資料などが適切に扱われている。 ・すべての子どもにとって使いやすいわかりやすいように、レイアウトや図の配色などが配慮されている。		・人権尊重の観点から、文章、写真、挿絵、図や資料などが適切に扱われている。 ・すべての子どもにとって使いやすいわかりやすいように、レイアウトや図の配色などが配慮されている。	
内容の程度	・写真やイラストが効果的に活用されており、学びの動機づくりに役立つよう工夫されている。 ・発達段階に即して、子どもの興味・関心や行動範囲が広がるように構成されている。		・写真やイラストが効果的に活用されており、学びの動機づくりに役立つよう工夫されている。 ・発達段階に即して、子どもの興味・関心や行動範囲が広がるように構成されている。	
組織・配列	・スタートカリキュラムとして活用できる内容が取り扱われている。 ・「わくわく」（単元導入）、「いきいき」（主な活動）、「ぐんぐん」（表現活動）の繰り返しになっているため、学習活動の流れと深まりの過程を体得しやすい。 ・各教科等を意識した入学当初の活動が、写真やイラストで示されている。 ・単元の終わりに「ひろがる気持ち」があり、学習したことを家庭と地域、日常生活につなげるきっかけを提示している。		・スタートカリキュラムとして活用できる内容が取り扱われている。 ・見開きで「課題設定→活動→振り返り」という構成になっているので学習の見通しが立てやすい。	
創意工夫	・子どもの語彙が増えるよう、「せいかつのことば」を子どもの具体的活動と共に提示している。互いを認め合いながら適切な言葉で伝え合いができるよう「きらきらことば」を提示している。 ・子どものつぶやきに「やってみたいこと」が主体的に書かれていたり、教員の支援例が提示されていたりするので、子どもたちの学びが広がる。また、子どもたちが対話をしながら、考えを深めたり、活動を発展させたりする場面が設定されている。		・子どもの気づきや活動の発展を促す「めあて」が下部に提示されている。 ・「ちえとわざのたからばこ」で「かんがえるわざ」を示し、思考力の高まりを促す「わざ」が提示されている。	
補充的な学習・発展的な学習	・学習した内容を確実に習得できるよう、学習の内容や過程などを振り返ることができるよう配慮されている。 ・子どもの成長段階に合わせたワークシートが提示されている。 ・子どもが気づきを深めたり、学習活動を発展させたりできるような資料を提示している。 ・自立への基礎を確立し、自己の成長を確認できるよう単元末に振り返り活動が設けられている。		・学習した内容を確実に習得できるよう、学習の内容や過程などを振り返ることができるよう配慮されている。 ・書き込みカードの種類が豊富で発達段階に合わせて内容をくふうしている。	

音楽教科用図書選定資料				
教科書名	発行者名	書名	発行者名	書名
	教育出版	小学音楽 音楽のおくりもの	教育芸術社	小学生の音楽
項目	所見		所見	
目標・内容の取扱い	・歌唱・器楽・鑑賞・音楽づくりの4つの領域が偏りなく取り扱われている。 ・生活や社会と音楽の関わりを取りあげるなど、こどもたちが興味をもてる教材を多く取りあげることで音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育み、音楽に親しむ態度を養い、豊かな情操を培う内容になっている。 ・音楽を形づくっている要素について、児童が考えられるように「音楽のもと」という書き込み部分を作り、6年間を通じて段階的に学習できるように構成されている。		・歌唱・器楽・鑑賞・音楽づくりの4つの領域が偏りなく取り扱われている。 ・生活や社会と音楽の関わりを取りあげるなど、こどもたちが興味をもてる教材を多く取りあげることで音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育み、音楽に親しむ態度を養い、豊かな情操を培う内容になっている。 ・音楽を形づくっている要素について、学年ごとに示してあり、段階を追って学習できるように構成されている。	
取人権扱いの	・国際理解に関わるたくさんの教材を取り入れ、全学年で手話についての取り扱いがある。 ・すべての児童にとって使いやすくわかりやすいように、フォントや文字の大きさ、レイアウトや図の配色など配慮されている。		・国際理解に関わるたくさんの教材を取り入れ、2年生で手話についての取り扱いがある。 ・すべての児童にとって使いやすくわかりやすいように、フォントや文字の大きさ、レイアウトや図の配色など配慮されている。	
内容の程度	・挿絵や写真が見開きで大きく載せられており、視覚からイメージを膨らませやすくなるよう配慮されている。 ・音楽づくりでは、少しずつステップアップでき、活動を積み重ねていくことで、様々な音楽の要素を使いながらまとまりのある音楽を作れるようになっている。 ・鑑賞領域では、身体表現を取り入れたり、感じたことを書き込んだりしながら、音楽を感じ取ったり、場面の様子をイメージしたりして聴く教材となっている。様々な観点から音楽が聴けるように工夫されており、また曲のジャンルも色々あり、多様な音楽に触れられる。 ・器楽（合奏）では、子どもの興味関心を引くような選曲がされており意欲的に取り組める曲が記載されている。		・挿絵や写真等、イメージを膨らませられるような取り扱いがされている。 ・音楽づくりではスモールステップでリズムや旋律を作れるようになっている。 ・鑑賞領域では、身体表現を取り入れたり、感じたことを書き込んだりしながら、音楽を感じ取ったり、場面の様子をイメージしたりして聴く教材となっている。 ・器楽（合奏）では、器楽が苦手な子どもでも無理なく取り組める内容になっている。	
組織・配列	・歌唱・器楽・鑑賞・音楽づくり等の表現活動が関連づけられており、前時で学習したことを復習しながら、他の領域でも使えるように、6年間を通じてより発展的に学習できるよう配慮されている。 ・低中高学年、それぞれ2年間を通して題材どうしのつながりを持ち、学びが深まるよう配列されている。また、全学年で「ショートタイムラーニング」として、英語の歌を取り扱っている。		・歌唱・器楽・鑑賞・音楽づくり等の表現活動が関連づけられており、前時で学習したことが、他の領域でも記載されていて、6年間を通じて学習できるようになっている。 ・低中高学年、それぞれ2年間を通して題材どうしのつながりを持ち、学びが深まるよう配列されている。また、中高学年では英語の歌を取り扱っている。	
創意工夫	・各教材の右側（同じ位置）に、新しく学習することを分かりやすく表示している。 ・鑑賞において随所に身体表現が取り入れられており、曲の感じを体で感じられるように工夫されている。知覚することから感受することで深い学びにつながっている。 ・巻頭には、児童に馴染みのある人物の写真と音楽へのメッセージが書かれているため、音楽に対する意欲が高まりやすい。 ・歌詞に合った写真が大きく、歌詞の内容をイメージしやすい。 ・「学び合う音楽」というコーナーを作り、音楽表現についてより児童の考えが深まるように配慮している。		・各教材に新しく学習することを表示している。 ・鑑賞において、身体表現が取り入れられている。低学年において、歌唱・器楽・音楽づくりの領域で拍について丁寧に記載されている。 ・巻頭には、人物の写真と音楽へのメッセージが書かれており、音楽に対する意欲が高まりやすい。 ・イメージキャラクターを用いて、子どもたちの気づきや思考を促す内容が随所に記載されている。	
補充的な学習・発展的な学習	・「まなびリンク」で学習に役立つ情報がウェブサイトで見られるようになっている。 ・各学年に「音楽ランド」という歌唱指導の補充的な学習があり、子どもの興味関心が高まるような曲をたくさん掲載している。 ・「音楽ランド」には、短時間でできる合奏が載せられており、校内音楽会等に使用できる。 ・伝統音楽の箏や篠笛などについて詳しく記載があり、中学校の学習へつなげることができる。		・随所にQRコードが記載されており、学習に役立つ情報がウェブサイトで見られるようになっている。各学年に「みんなで楽しく」という歌唱指導の補充学習がある。 ・「みんなで楽しく」には短時間でできる合奏が載せられている。	

図画工作		教科用図書選定資料		
教科書名	発行者名	書名	発行者名	書名
	開隆堂	図画工作	日本文教出版	図画工作
項目	所見		所見	
目標・内容の取扱い	- 単元ごとに学習のめあてが設定されており、適切な内容が取りあげられている。 - 新学習指導要領の目標がよく分かるよう工夫されており、学習のめあてを明確にすることで、児童が意欲を持って活動できるように工夫されている。 - 共同して行う活動や対話的な活動が多く取りあげられている。 - 感性を育み、楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養い豊かな情操を培うことができるよう配慮されている。		- 単元ごとに学習のめあてが設定されており、適切な内容が取りあげられている。 - 対話的な学びの場面を多く取りあげるなど、他者と関わりながら活動する中で、感情を育み、楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養い、豊かな情操を培うことができるよう配慮されている。 - 表現では、造形遊び、絵、立体、工作がバランスよく取りあげられている。 - 課題を見つけ、試行錯誤しながら材料や方法などを選択し、活動できるよう題材が設定されている。	
人権の取扱い	- 人権尊重の観点から、作品例、文章、挿絵、図、資料などが適切に取りあげられている。 - 海外の友だちの作品もあり、色彩感覚の違いや構図など、視野が広がるよう工夫されている。 - カラーユニバーサルデザインを用いたり、意味の単位で文章が捉えられるよう、文字での表記を分かりやすくしたり、写真や絵、図の重なりを減らすなどの配慮されている。		- 人権尊重の観点から、作品例、文章、挿絵、図、資料などが適切に取りあげられている。 - 道徳マークを用いて関連を表記したり、コントラストや文字の背景色でカラーユニバーサルデザインに配慮したりされている。 - 題材名、めあて、ふりかえりが、どのページでも同じ場所にあり、紙面の構成が統一されている。 - 多様な児童、幼児、障がいのある方、高齢者、色々な国の人などが登場し、多様性に配慮されている。 - 郷土や日本の伝統文化、中学や未来に向けての夢も題材としてあり、考えを広げるきっかけづくりとなりそうである。	
内容の程度	- 色や色の重なりを大切にしており、応用ができるよう上下巻で掘り進む版画を取りあげられている。 - 対象の形や色、材質などの特徴を捉え、それぞれの発想で自由に表現する様子が紹介されている。 - 鑑賞の参考作品の写真が大きくて分かりやすく、細部もよく見て比べることができるよう配慮されている。		- 同じ題材でも、一人ひとりの子どもの思いが表現できるように手法の紹介や写真が取りあげられている。 - 低学年は、体全体を使った活動が多く紹介されている。作った工作で遊んだり、みんなで掲示したりと、意欲を引き出す題材が取りあげられている。 - 指を使って「土」でかくや、画用紙一枚にとどまらないなど、ダイナミックに表現できる題材が中学年に向いている。 - 相互鑑賞については、ページの中で写真や吹き出しを使って視点を示し、児童が感じたことや思ったことを伝え合い、見方や感じ方を深めることができるように考慮されている。	
組織・配列	１・２年、３・４年、５・６年で各上下巻の構成になっておりそれぞれの学年の目標を踏まえたテーマ設定がされている。 - 教科書表紙の題字の言葉をイメージさせる作品やデザインが掲載されている。毛糸や色紙などを使い、児童の興味を引くよう工夫されている。		１・２年、３・４年、５・６年で各上下巻の構成になっており、それぞれの学年の目標を踏まえたテーマ設定がされている。 - 同じ材料用具を使いながらも、発達に沿う発展がある。 - 学習のめあてが、どの題材も３つあって分かりやすい。 - 表紙、見開き（教科書美術館）は、児童の興味を引くような作品が大きく取りあげられている。 - 活動の流れがわかるように始まりから終わりまでの授業の写真が配置されている。	
創意工夫	- 児童の個性に合わせて、多様な表現ができるように多くの作品が掲載されている。 - 大きな写真、鮮やかな色彩の作品が多く取りあげられている。 - ひらめきコーナーやショートチャレンジは、単発でできデザインや表現の幅を広げられる。		- 児童の個性に合わせて、多様な表現ができるように多くの作品が掲載されている。 - 児童が考えを伝えあったり、相談したりしながら、造形活動を行う様子が例示され、試行錯誤しながら表現と鑑賞を繰り返し、学べるよう工夫されている。 - 作品例が大きく、細かいところも見やすい。 - 発想のきっかけとなるよう、視覚や触覚などの感覚や行為から形や色などを理解できるように工夫されている。 - 子どもたちの吹き出しから工夫したポイントが分かる。	
補充的な学習・発展的な学習	「つながる造形」では、興味関心を引くだけでなく日本や世界未来や平和につながる作品が総合的に取り上げられている。 - 学習のめあてについて、具体的なアドバイスが各ページに掲載されている。 - ＱＲコードのあるページでは、学習に役立つ情報をウェブサイトで見ることができる。		「使ってみよう」で、材料や用具の魅力を写真やイラストで伝え、使ってみたいという意欲を高めるよう配慮されている。 「ひらめきポケット」では試しながら形や色をとらえてイメージを広げられるよう、体を動かして考える内容を取りあげられている。 「図画工作のつながりひろがり」のページでは、図画工作を通した全国各地の伝統文化や工芸について紹介されている。 - デジタルマークのあるページでは、学習に役立つ情報をウェブサイトで見ることができる。	

家庭		教科用図書選定資料		
教科書名	発行者名	書名	発行者名	書名
	東京書籍	新しい家庭 ５・６	開隆堂	わたしたちの家庭科 ５・６
項目	所見		所見	
目標・内容の取扱い	- 家庭科の目標達成のために、効果的な学習がすすめられるように、すべての単元が３ステップ（課題発見、課題解決・実践活動、評価・改善）で展開されていて、ステップごとのふり返りも設定されている。 - 各単元の最初に、「生活の営みに係る見方・考え方」の視点が意識できる表記が設けられている。 - 多数の実践・体験の場が設定されていて、児童の主体的・対話的で深い学びにつながる活動が取り入れられている。実習・制作例も豊富である。		- 家庭科の目標達成のために、すべての単元が３ステップ（考え、計画・実践、ふり返り）で展開されている。 - 多数の実習・制作例が取り上げられている。	
人権の取扱い	- さまざまな家族形態があることが配慮されているようなイラストや、男女で楽しく活動している写真が多く使われている。 - 幼児や高齢者、障がいのある人、外国人との関わりを通して、生活しているイラストや写真が使われている。 - 左利き用の調理・裁縫道具の使い方が巻末に大きく分かりやすく掲載されている。 - 色覚の多様性に配慮した配色やデザインをしたり、字体にUD教科書体を使用したりしている。		- 外国人の同級生と、楽しく活動している写真ののっていたり、家族で過ごしたり、高齢者、障がいのある人と生活したりしている写真やイラストが掲載されている。 - 左利き用の調理・裁縫道具の使い方が巻末に掲載されている。	
内容の程度	５、６年生ができる実習になっている。 - 家庭科で扱う食育「調理の技能」「朝ご飯」「栄養」「共食」を丁寧に扱っている。学校給食とも関連付けて指導ができるよう配慮がされている。 - 食育に果たす家庭科の重大要素に鑑み、食の内容を系統的に繰り返し学習できるように配慮している。栄養に関連する内容を学び、繰り返し学習できるような展開がある。 - 作業手順が写真を有効活用し、丁寧に説明されている。 - 学習したことを家庭や地域で実践できるよう、実践例があげられている。		５、６年生ができる実習になっている。 - 食事の役割について考え、調理の基礎を習得し、栄養を考えた食事の献立ができるようステップアップしながら学習が進められる題材構成になっている。 - 栄養素の働きによる食品の分類は食に関するどのページにも開いたまま活用できるよう工夫されている。 - 実習の手順が写真、図を使って説明されている。 - チャレンジコーナー、レッツトライなど家庭生活に生かせるよう例があげられている。	
組織・配列	- 他教科との関連が大きく書いてある。 ５年生で学習したことをもとに、６年生で発展的な学習につなげられている。 - 身の回りの基本的なことから、生活全般の内容について、視野を広げていく配列になっている。 ３ステップ、めあてがきちんと提示されており、問題解決的な学習になっている。また、主体的な学びや対話的な学びにつながる活動が入れられている。 - 実習の基本を巻末に、写真入りでわかりやすくまとめている。		- 外国語で示され、他教科との関連が書いてある。 - 身の回りのことから家族、地域と視野を広げていく配列になっている。 - 学習のめあて、ふり返りを確認するためのチェック欄がある。 - 単元ごとに、「見つける気づく」「わかるできる」「生かす深める」の３つで構成されており、それぞれのめあてがはっきりと書かれている。	
創意工夫	- 教科書が見開きＡ３サイズなので、写真や図が大きく見やすい構成になっている。 - 左利きの児童に配慮した写真が多く使われている。 - 巻末に「いつも確かめよう」のコーナーがあり、調理や製作実習の際に、実物大の写真を見ながら、方法を確認することができる。 - 大題材のテーマごとに色分けされ、使われているデザインとテーマが一致しており、学習の系統性が可視化されている。 - 毎時間ごとのめあてと振り返り（ふり返ろう）がはっきりと記載されている。 - 学びを深める為の活動が準備されている。		- 巻末にある「わたしたちの生活の中にある伝統文化」や「伝統」に関する資料では、生活の中で受け継がれてきた伝統文化を衣食住中心に紹介している。 - 教科書にＱＲコードが掲載されており、タブレット端末等で動画資料を見ることができる。	
補充的な学習・発展的な学習	- 巻末の「安全に実習しよう」では、実習で気を付けなければならないことが書かれており、安全教育・防災教育の視点からも分かりやすくまとめられている。 「プロに聞く！」では、地域の人々や各界のプロのインタビュー記事が掲載されており、キャリア教育につながっている。 「日本の伝統」では、日本の伝統的な生活に関わる資料を取り上げている。 - 他教科の学習内容と結びつける関連マークがあり、横断的な学習ができる。		「〇〇にかかわる人」では、内容と関連した職業についている方々の記事があり、キャリア教育につながっている。 「家庭で実践しようチャレンジコーナー」では、家庭科で学習したことを発展的に学べるよう活用方法や調べ方がまとめられている。 - 巻末の「ことばのページ」では、家庭科の用語を英語でどう表現するのが記載されている。	

保健		教科用図書選定資料								
教科書名	発行者名	書名	発行者名	書名	発行者名	書名	発行者名	書名	発行者名	書名
	東京書籍	新しい保健	大日本図書	たのしい保健	文教社	わたしたちの保健	光文書院	小学保健	学研	みんなの保健
項目	所見		所見		所見		所見		所見	
目標・内容の取扱い	・学習指導要領において「健康に関する課題を解決する学習活動を積極的に行う」と明記されており、本教科書ではステップ1～4で問題の解決過程がわかりやすく示されている。 ・ステップ4では、自分の生活を見直す活動が設けられており、気付いたことを書いて自分の生活を振り返ることができるように取り扱われている。		・各単元の本文では、基礎的・基本的な学習内容をわかりやすい言葉で明示し学習すべき内容の確実な習得が図れるように配慮されている。 ・章のはじめに「学習ゲーム」を掲載し児童がゲームを行うことで自然と学習の課題に気づき、意欲的に取り組めるよう工夫されている。		・学習指導要領に定められている目標を達成するために、児童の発達段階に応じた学習内容が盛り込まれている。 ・学習指導要領に示されている目標を達成するため、適切な内容が系統的に盛り込まれている。		・学習指導要領に記されている内容に関して、児童の興味・関心が引き出せるように分かりやすくまとめられており、日常における身近な具体例と関連づけられている。		・学習指導要領に示されている方針、目標、内容、内容の取り扱いに基づいて適切に内容を取りあげている。 ・随所に「関連」を設け、系統的に学習ができるように配慮されている。 ・各章のはじめにとびらを設け、学習内容の全体像を示されている。	
人権の取扱い	・多文化共生の観点から、挿絵などの様々な場面で、多用な人との関わりの例が示されている。 ・挿絵や写真において、男女の表現に配慮されている。 ・活動場面では、男女の比率や役割に偏りがないように配慮されている。		・児童が活動する場面では、ジェンダーを意識し、男女が同じくらいの数になるように配慮されている。		・人権尊重の観点から、表紙、本文、挿絵、写真、グラフ等について適切に表現されている。 ・健康な心と体の発育が、生命尊重のもとに示されている。		・人権尊重の観点から、表紙、本文、挿絵、写真、グラフ等について適切に表現されている。 ・男女共生の観点から、様々な場面で様々な立場の子どもや大人が登場している。		・男女の登場回数は、写真やイラストなどを見ると、ほぼ同じであり、様々な観点から人権的な配慮がされている。	
内容の程度	・課題を見つけ、それを解決するための話し合い活動の場面が設定されている。 ・学習内容が明確に提示され、児童の発達段階に即して記述されている。挿絵やグラフなどの使われ方も適している。		・学習内容の系統性、領域のバランス、他教科との連携を総合的に考慮し、適切な単元配列となっている。		・1単位時間が見開き2ページの構成となっており、見通しを持って学習できるように配慮されている。		・学習内容を明確に提示し、児童の発達段階に合わせて記述されている。また、本文や挿絵、写真、グラフ等の資料の使われ方も配慮されている。		・各内容は、児童の心身の発育・発達段階に適応しており、身近な問題・自分の問題として取組むことができるように工夫されている。	
組織・配列	・1単位時間4ページの構成となっており、見通しを持って学習することができる。 ・外国語などの教科とも関連付けがされており、教科を横断的に指導ができるようになっている。		・学習指導要領に則り、身近な生活における健康・安全に関する基礎的な内容を分かりやすく、より実践的に学習できるように配慮されている。		・「新しい自分にレベルアップ」や「わたしの〇〇せん言」の項目において、児童が自身の考えを深められ、学習内容の定着が図られている。		・保健学習の進め方が記載されており、どのようにして学習していくのかが一目で分かりやすく示されている。		・子どものイラストが問いかけやアドバイスになっており、効果的な指導が行われる構成となっている。	
創意工夫	・手の汚れを確かめる実験やリラックス状態を体験する活動が取り扱われている。 ・ステップ1～4の学習過程の中で、児童自身が、自分のこととして課題を解決する学習活動が取り扱われている。		・友だちと話し合ったり、教科書やノートに記入したりすることで、自分の言葉として表す表現力が育成されるように配慮されている。		・自分の生活を項目ごとにチェックする活動や体ほぐしの運動、複式呼吸でリラックスする活動など、具体的な体験を伴う活動が取り扱われている。		・各単元の導入において、これから学習する内容について、4コマのイラストで描かれており、児童が取り組みやすいよう配慮されている。		・身近な専門家からのメッセージの形式を用い、発育期にある児童にとって重要な課題、今日的な課題を説明することで自ら健康問題を主体的に解決していく力を身につけることができるように工夫されている。	
補足的な学習・発展的な学習	・各章の最後（ステップ4）では、学習したことをまとめ、自分の生活や今後の学習に活かすための内容が設定されている。 ・スマートフォンやタブレットの使い方や、インターネットについてなど、今日の児童を取り巻く環境について触れており、健康被害や犯罪被害から身を守る内容になっている。 ・Dマークのあるページでは、学習に役立つ情報をウェブサイトで見ることができる。		・「もっと知りたい!」では、学習内容に関連する資料を掲載し、学習内容をさらに広げて知識を深められるよう工夫されている。 ・「ミニちしき」や「はってん」などの読み物や資料で、個に応じて学習内容を深めることができるように配慮されている。		・学習した内容を確実に習得できるよう、学習の内容や過程などを振り返ったり、学んだことを生活に生かしたりするための資料やコラムが取り扱われている。		・スマートフォンやタブレットの使い方や、インターネットについてなど、今日の児童を取り巻く環境について触れており、健康被害や犯罪被害から身を守る内容が取り扱われている。		・随所に「もっと知りたい・調べたい」を設け、児童の興味・関心や学校の実態に応じて、学習したことを広げたり深めたりすることができる構成となっている。	

英語		教科用図書選定資料													
教科書名	発行者名	書名	発行者名	書名	発行者名	書名	発行者名	書名	発行者名	書名	発行者名	書名	発行者名	書名	
	東京書籍	NEW HORIZON	開隆堂	Junior Sunshine	学校図書	JUNIOR TOTAL ENGLISH	三省堂	CROWN Jr.	教育出版	ONE WORLD Smiles	光村図書	Here We Go!	啓林館	Blue Sky	
項目	所見		所見		所見		所見		所見		所見		所見		
目標・内容の取扱い	・音声から文字への流れを重視し、聞く、話す、読む、書くの順に構成されている。		・学習した英語表現をくり返して、基礎的な技能が身につく内容である。 ・始めに、学習の見通しが示されている。		・目的や場面に応じて、自分の考えや気持ちなどを伝え合う内容が取り扱われている。		・経験した表現や語彙などを、実生活の中で活用できる力を系統的に育成できるような工夫がなされている。		・各単元の冒頭に単元目標を明示し、単元末に児童のふり返りの機会が設けられており、指導・評価のポイントがわかりやすい。		・相手に反応する言葉や思いや言葉を学習できるようになっており、実生活の中の自然なコミュニケーションに近づけた内容になっている。 ・各単元の冒頭に、ゴールと段階を追った小目標を併せて示すことで、目標を意識して学習できるようになっている。		・コミュニケーション活動を多く取り入れ、実生活の中で活用できる力を系統的に育成できる。 ・活動を通して、言語や文化を理解する内容が豊富である。		
取入権いの	・教材内容や文章、写真、挿絵などが、人権尊重の観点から配慮されている。 ・外国の人に向けた多言語表示の標識やパラリンピックなど世界各国の題材を広く取り扱っている。		・教材内容や文章、写真、挿絵などが、人権尊重の観点から配慮されている。		・教材内容や文章、写真、挿絵などが、人権尊重の観点から配慮されている。		・教材内容や文章、写真、挿絵などが、人権尊重の観点から配慮されている。		・教材内容や文章、写真、挿絵などが、人権尊重の観点から配慮されている。 ・自国の伝統や文化から、海外の学校生活との比較、国際理解へとつなげている。		・教材内容や文章、写真、挿絵などが、人権尊重の観点から配慮されている。 ・世界の12人の実際の小学生が登場し、世界各国の文化に対して理解を深められるコーナーを設けている。		・教材内容や文章、写真、挿絵などが、人権尊重の観点から配慮されている。 ・国際理解、異文化理解を深められるような演習が取り入れられている。		
内容の程度	・テーマが多岐にわたり、自分のことから地域、日本、世界へと視野を広げて考えられるよう構成されている。 ・各単元には、異文化理解のためのコーナーが設けられ、世界への興味・関心を高められる。		・5年生では、身近な社会との関わり、6年生では世界との関わりを学ぶ内容になっている。 ・異文化理解に関する題材が多く取り扱われている。		・5年生では、身近な社会との関わり、6年生では世界との関わりを学ぶ内容になっている。		・学校生活などの身近な内容から、日本の伝統文化や他国の文化、自然、将来の職業など児童の興味・関心に沿った内容が取り扱われている。		・クラス内での自己紹介に始まり、学校生活での体験から地域、日本国内、海外へと徐々に視野が広がるように構成されている。		・2年間を通した登場人物のストーリーの中で、自分のことから地域、日本、世界へと広がりをもって学習する内容になっている。		・学校生活などの身近な内容から、各都道府県の特徴、自国の文化、外国の祭り・習慣など、視野を広げながら学べるように構成されている。		
組織・配列	・目的や内容を踏まえて、教科横断的な視点も含め、効果的な指導が行われるよう組織・配列されている。 ・4技能・5領域に関する活動が系統的に取り上げられている。		・目的や内容を踏まえて、教科横断的な視点も含め、効果的な指導が行われるよう組織・配列されている。 ・4技能・5領域に関する活動が系統的に取り上げられている。		・目的や内容を踏まえて、教科横断的な視点も含め、効果的な指導が行われるよう組織・配列されている。 ・4技能・5領域に関する活動が系統的に取り上げられている。		・目的や内容を踏まえて、教科横断的な視点も含め、効果的な指導が行われるよう組織・配列されている。 ・4技能・5領域に関する活動が系統的に取り上げられている。		・目的や内容を踏まえて、教科横断的な視点も含め、効果的な指導が行われるよう組織・配列されている。 ・4技能・5領域に関する活動が系統的に取り上げられている。		・目的や内容を踏まえて、教科横断的な視点も含め、効果的な指導が行われるよう組織・配列されている。 ・4技能・5領域に関する活動が系統的に取り上げられており、スモールステップを踏んだ配列になっている。		・目的や内容を踏まえて、教科横断的な視点も含め、効果的な指導が行われるよう組織・配列されている。 ・4技能・5領域に関する活動を系統的に取り上げ、各パートのスモールステップのめあてを設けている。		
創意工夫	・各単元末でペアワークやグループワークが設定されるなど、相手を意識した聞き方・話し方ができる学習形態が設定されている。		・物価の相場や世界で人気の教科・スポーツなどが載っていて、共通点や相違点に気付くための工夫がされている。		・各単元の終わりに、3段階の自己評価や一言感想を記入する欄が設けられている。		・単元のまとめにあたる活動では、既習事項を使って、思考力・判断力・表現力を働かせて活動するような課題が設定されている。		・各単元でペアワークやグループワークが設定され、既習事項を使ったやりとりや活動が設定されている。		・各単元の「Jump」では、考えたり、表現したりする活動が多く取り入れられており、数も豊富で児童の興味を引くものとなっている。 ・巻末には、語彙リストがあり、繰り返し書いて全体に示せるシートがついている。		・スモールステップごとに学習について自己評価できるように工夫されている。 ・各単元のActivityでは、考えたり、表現したりする活動が多く取り入れられている。		
補充的な学習・発展的な学習	・QRコードを設けて音声にアクセスでき、家庭学習でも活用することができる。		・QRコードを設けて音声にアクセスでき、家庭学習でも活用することができる。		・QRコードを設けて音声にアクセスでき、家庭学習でも活用することができる。 ・World Cornerや各コラムで異文化理解学習ができる。		・QRコードを設けて音声にアクセスでき、家庭学習でも活用することができる。 ・巻末にコミュニケーション活動で利用できる語彙や表現のリストがあり、自学自習の助けとして活用できる。		・「まなびリンク」により学習に役立つ情報にアクセスでき、家庭学習でも活用することができる。 ・中学年からの接続や、中学校への接続がスムーズに行えるように配慮されている。		・QRコードを設けて音声にアクセスでき、世界の友だちの動画とともに英語を聞くことができるなど、家庭学習でも活用することができる。 ・中学年からの接続や、中学校への接続がスムーズに行えるように配慮されている。		・QRコードを設けて音声にアクセスでき、家庭学習でも活用することができる。 ・中学年からの接続や、中学校への接続がスムーズに行えるように配慮されている。		

道徳																
教科用図書選定資料																
教科書名	発行者名	書名	発行者名	書名	発行者名	書名	発行者名	書名	発行者名	書名	発行者名	書名	発行者名	書名	発行者名	書名
	東京書籍	新訂 新しい道徳	学校図書	かがやけみらい 小学校道徳	教育出版	小学道徳 はばたこう明日へ	光村図書	道徳 きみがいちばんひかるとき	日本文教出版	小学道徳 生きる力	光文書院	小学道徳 ゆたかな心	学研教育 みらい	新・みんなの道徳	廣済堂 あかつき	みんなで考え、話し合う 小学生の道徳
項目	所見		所見		所見		所見		所見		所見		所見		所見	
目標・内容の取扱い	- 学習指導要領に示されている目標を達成するため、適切な内容が系統的に盛り込まれている。 - 他の教科と関連して、1年生ではスタートカリキュラムが設定されている。 - 家庭や地域社会について多くの教材を扱っている。		- 学習指導要領に示されている目標を達成するため、適切な内容が系統的に盛り込まれている。 - 様々な分野で活躍する著名人、スポーツ選手等を取り上げた教材を通して、自らの関わりから深く考えることができるよう取り扱われている。 - 気づきから深い学びに広げられるような教科書の構成になっている。		- 学習指導要領に示されている目標を達成するため、適切な内容が系統的に盛り込まれている。 - 多様な教材と指導方法ができるよう配慮されている。 - きれいな写真が多く用いられ、効果的に活用されている。		- 学習指導要領に示されている目標を達成するため、適切な内容が系統的に盛り込まれている。 - 現代的な課題について、6年間を通じて計画的に学習が進められるようになっている。		- 学習指導要領に示されている目標を達成するため、適切な内容が系統的に盛り込まれている。 - これまで研究授業でよく扱われてきた教材が数多く掲載されている。また、教材に子どもが興味関心を持って取り組めるよう身近なものや絵本アニメ、人物などが多く採用されている。 - 道徳ノートに改善が見られ、ベテラン教員のニーズに応じている。		- 学習指導要領に示されている目標を達成するため、適切な内容が系統的に盛り込まれている。 - 様々な分野で活躍する著名人、スポーツ選手等を取り上げた教材を通して、自らの関わりから深く考えることができるよう取り扱われている。		- 学習指導要領に示されている目標を達成するため、適切な内容が系統的に盛り込まれている。 - 考え議論する道徳をめざしたり・主体的な学びの意欲をサポートしたりするような構成になっている。		- 学習指導要領に示されている目標を達成するため、適切な内容が系統的に盛り込まれている。 - 様々な分野で活躍する著名人、スポーツ選手等を取り上げた教材を通して、自らの関わりから深く考えることができるよう取り扱われている。 - 多様な教材と指導方法ができるよう配慮されている。	
取人権扱いの	- 人権尊重の観点から文章、写真、挿絵、図、資料などが適切に取り扱われている。 - ユニバーサルデザインの取組みが進められている。 - よりよく生きようとする心を育てるため、「出会うふれ合う」をテーマに人間関係の構築ができるようコミュニケーション活動も盛り込まれている。		- 人権尊重の観点から文章、写真、挿絵、図、資料などが適切に取り扱われている。 - 表紙絵に男女のかわいいイラストが登場している。 - 多面的・多角的に学習をふかめられるよう「ともにいきる」をテーマに年間を通していじめや周りの人の関係について考えられる教材がある。		- 人権尊重の観点から文章、写真、挿絵、図、資料などが適切に取り扱われている。 - 集団作りにつながる、「考え」「深める」「つなげる」構成になっていて、考えを深められる構成になっている。 - パラリンアートが各学年で登場している。		- 人権尊重の観点から文章、写真、挿絵、図、資料などが適切に取り扱われている。 - ユニバーサルデザインフォントで見やすい。 - 男女共生や多文化、障がい者理解など様々な観点において、適切な人権的配慮がされている。		- 人権尊重の観点から文章、写真、挿絵、図、資料などが適切に取り扱われている。 - 人権尊重の取組みとして、「人との関わり」を重点テーマの1つに据え、各学年、年3回（学期に1回）教材が配置されている。 - 教材の挿絵やイラスト等で、男女の性差を感じないよう配慮されている。		- 人権尊重の観点から文章、写真、挿絵、図、資料などが適切に取り扱われている。 - 諸外国の文化に触れたり尊重したり、ともに親しむことにつながるように配慮されている。		- 人権尊重の観点から文章、写真、挿絵、図、資料などが適切に取り扱われている。 - 多様な教材と指導方法ができるよう配慮されている。 - いじめ防止教材を数多く掲載している。 - 本自体が大きく、字や写真、イラストが大きくて見やすい。また、きれいな写真が多いのも魅力的である		- 人権尊重の観点から文章、写真、挿絵、図、資料などが適切に取り扱われている。 - 男女共生や多文化、障がい者理解など様々な観点において、適切な人権的配慮がされている。 - ユニバーサルデザインへの配慮がなされている。	
内容の程度	- 問題解決的な学習、いじめ、コミュニケーション、他教科との関連が網羅されている。 - 内容項目が児童にも分かりやすい。 - 子どもたちの身近な話題や感動的な教材などを用いている。		2分冊「気づき」「まなび」道徳の学習のガイダンスと2分冊の使い方を示している。 - 多面的、多角的に学習を深める教材が設定されている。		- 発達段階に応じた構成になっている。 5、6年では、人物の生き方を取り上げ、高学年として自覚を持つ教材を多く設定している。 - 全学年でいじめについて取り扱われており、「考えよう」「深めよう」では、自分の思いや考えをまとめたり、発表したりしながら、自分との関係において考え、いじめをしない、許さない意欲や態度を育むよう配慮されている。		- 全学年でいじめについて取り扱われており、善悪の判断や相互理解・寛容等を系統的に考えることに加え、学年の発達段階に応じたコラムにより、いじめをしない、許さない意欲や態度を育むよう配慮されている。 - めあて、問い、つなげようと、問題解決的な学習や体験的な学習を展開できるようにしている。		- 導入のための発問やねらいにせまる発問、価値を深める発問例が記載されている。 - 昨年度よりワークシートが改善され、柔軟かつ自由に使える工夫と記録として残せる工夫がされている。 - 学習の手引きでは、イラストや写真、記入スペースを設け、支援が必要な子どもにもイメージが付きやすい配慮がなされている。 - 評価のポイントが明確である。 - デジタル教材とのリンクがある。		- 人物に学ぶ教材、長く親しまれる教材、実話に基づく教材、親しみやすい漫画・アニメなど掲載されている。 - 全ての子どもに分かりやすいように、欄外に子どもに寄り添うキャラクターが考えるポイントや大切な見方を投げかけている。 - 内容項目が色分けされ、他にもマークでも分類されていて見やすい構成になっている。		- 主題は、巻末および指導書などに掲載されており、特定の価値観を押し付けられないよう配慮している。 1年の始めに自分をみつめ、学びをふり返るページも設定されている。		- 導入や発問について記載されている。 - 道徳ノートで個人の記録が可能である。 - 全学年でいじめについて取り扱われている。「考えよう話し合おう」で、問題の解決にむけて活動することを通して、いじめをしない、許さない意欲や態度を育むよう配慮されている。	
組織・配列	- 各学年とも、教材が4つの視点でバランスよく組織・配列されている。 - 写真や資料の掲載が豊富である。 - 導入に役立つオリエンテーションのページがある。 - スタートカリキュラムを取り入れ、就学前教育と関連付けが見られる。		- 各学年とも、教材が4つの視点でバランスよく組織・配列されている。 - 学級経営上の大切な時期に合わせて教材配列の工夫がある。 - 児童の発達段階や1年間での変容、行事などを考慮している。		- 各学年とも、教材が4つの視点でバランスよく組織・配列されている。 - 他教科や特別活動、学校行事、年中行事などと関連を図った指導計画書が立てやすい。		- 各学年とも、教材が4つの視点でバランスよく組織・配列されている。 - 学校生活や児童の発達段階に合わせてまとまりごとにAからCのいずれか内容項目に重点を置いている。 - Dの内容項目は、年間を通してバランスよく配置されている。		- 各学年とも、教材が4つの視点でバランスよく組織・配列されている。 - 各学年でオリエンテーションのページが設定されている。 - 学校行事や子どもの発達段階などにあった時期の教材を使用している。 「あらすじ」「主な登場人物」が教材の把握を助けて、考え議論する時間を確保している。		- 各学年とも、教材が4つの視点でバランスよく組織・配列されている。 - 冒頭に「導入」末尾に「終末」「展開」を設定している。 1時間の授業の流れが明確である。		- 各学年とも、教材が4つの視点でバランスよく組織・配列されている。 「生き方」について、具体的なテーマを低中高の発達段階で設定している。 1年間を通した道徳の学びの全体像をつかむ。		- 各学年とも、教材が4つの視点でバランスよく組織・配列されている。 「生命の尊さ」だけでなく、その他の内容項目の教材でも「生命の尊厳」について考えられる教材の掲載がある。	
創意工夫	- 巻頭に、「これから1年間で学ぶこと」「道徳の学習を進めるために」と、道徳の授業の進め方が記載されている。 - 巻末には、学習の記録や振り返り、これからの自分へ向けて、歌詞(花は咲く)などが豊富になっている。 - A B判となっている。		- 読み物と書きこみ用の2冊にわかれている。 - 書き込み用は内容項目ごとにページが分かれており、児童の変容がよく分かり、評価する時にも役立つ。 - A B判で2分冊の構成になっている。		- 巻末に、学期ごとの「学びの記録」ページがついている。 - A B判となっている。		- 国語の教科書のように最初に詩が載っており、挿絵も似たタッチになっており、子どもは馴染みやすい。 - 学期ごとに「学びの記録」のページがついている。 - 物語文が比較的多く、児童に分かりやすくなっている。 - B 5変形判となっている。		- キャラクターに丸をつけたり線を結んだり、「書く」作業が簡素化された。 - 発問を教師が自由に書き込めるようになり、自由度が増した 「いじめ」については直接的な表現で扱っている - A B判で2分冊の構成になっている。		- 巻末に「学びの足跡」がついており、心の矢印によって理解度や心に響いた度合いを示せるようになっている。 1年生から情報モラル（スマートフォン）についての教材がある。 - 学習指導要領の4つの視点が、マークで分かりやすい。 - A 4変形判となっている。		- 各学年、巻頭に「My profile」があり、まず自分の事を考えられるようになっている。 「自分の考え」を書くページが2話ごとに設けられている。 - A 4判となっている。		- 道徳ノートの巻末に考えた事や感じた事を自由に書き込めるようになっている。 - A B判で2分冊の構成になっている。	
補充的な学習・発展的な学習	「出会うふれあう」などのページがあり、児童が議論や話し合いが行いやすくなっている。 - タイトルの前にその日の学習のねらいが書かれており、学ぶ内容がはっきりしている。 - お話の後ろに「考えるステップ」が記載されており、発展的な発問が用意されている。 - 道徳で学習したことを日常生活の中で実践することによって、学んだことを更に深く心にとどめたり、これからの思いや課題について考えたりすることができるよう配慮されている。		- 書き込み用のノートに、「かんがえよう」「みつめよう」と考えさせる場面が書かれており、指導するポイントがおさえられている。 - 友達の考えを書くことができる。		- 各学年の巻頭に「道徳ではこんな学習をするよ」というページがあり、考え・議論する道徳の意識付けを行っている。 - 巻末に各学年の補充教材として様々な人物のエピソード教材が記載されている。		- どの教材にも「考えよう・話し合おう」がついており、考え・議論しやすくなっている。 - 教材に関連したコラムや資料があり、学んだことを自己の課題として心にとどめることができるよう配慮されている。		- 教材とつなげて考える「心のベンチ」のページを設けており、多文化について考える機会があったり、ゲーム形式で友達の良いところ探しがあったりと、活動が豊富にある。 「学習の手引き」のページがあり、話し合い活動を通して子どもたちの考えを深めようとしている。 - いじめ防止教材は、複数の教材をユニットとすることで学級の状況に応じた授業を展開できるよう工夫されている。 「あいさつ」に関連した教材等のページが非常に多くあり、また、内容も各学年に応じて工夫されている。		- 巻頭に「道徳の授業のはじめります」など、教科書の使い方がていねいに分かりやすく記載されている。 - お話の下欄に吹き出しがあり、児童が、どこを考えればいいかを意識させやすくなっている。 - 長く研究授業で扱われてきた教材が各学年で多く取り入れられている。 - 各教材の「広げよう」において、これからの思いや課題について考えたりすることができるよう配慮されている。		- お話によって「深めよう」「つなげよう」「やってみよう」「広げよう」というページが設けられており、個から全体へ考えや意見を広げていく工夫がされている。 - 学習の振り返りを書くページが設けられている。		- 教材毎に学習の道筋が書かれており、どのような観점에서話し合うとよいかが書かれている。 「道徳ノート」で、発問が書かれており、指導するポイントがおさえられている。	

児童生徒の実態により、下学年、文科省著作の教科書では指導が困難と判断致します。

つきましては、学校教育法附則第9条による教科用図書として下記一般図書を採択下さいますよう宜しくお願い致します。

(1 / 3)

児童名	学年	教科	文字サイズ	理由	備考
A	5年	国・算	22pt	本児は平成30年7月10日に近畿大学医学部附属病院にて斜視の手術を受けた。また、WISC-IV検査においても、読みとばしや行とばし、誤理解、文字のはみ出しなどの読文書字に課題が見られた。これらの視機能面の課題から、集中力の持続が困難となっている。現在、拡大コピーや行間を広げるなどの支援を行っているが、拡大教科書の使用により、より学習効果の向上が期待できることから、その使用を希望するものである。	
B	6年	国	22pt	平成28年に行ったK-ABC、WISC-IVの検査では、読み、書き、計算において、学習の遅れが確認できた。特に、文章を読むことに課題があり、読みとばしや誤読が多い。本人が拡大教科書のサンプルを見て意欲的に読むことができたことから、拡大教科書の使用により、より学習効果の向上が期待できると考え、拡大教科書の使用を希望するものである。	
C	6年	国・算	22pt	本児は、2年ほど前に眼科にて心因性の視覚障がいと診断を受けた。昨年度の発達検査においても、視覚優位という結果が出ている。現在も、文章を読む際に読みとばしや誤読があり、6年の教科書の文字サイズを見てスムーズに読めるか不安を抱いている。拡大教科書の使用により、学習意欲の向上が期待できると考え、拡大教科書の使用を希望するものである。	
D	5年	国・算	22pt	斜視があり、文字がぼやけて見えるなどするため、読みとばしや誤読がみられる。本児の視機能の課題を勘案し、より学習効果の向上が期待できると考え、拡大教科書の使用を希望するものである。	
E	6年	国・算・英	22pt	音読での読みとばしや、漢字・文章の写し間違いが多くみられる。また、筆算では、位を間違えて読んだり、書き込んだりすることがあり、視機能の課外が顕著である。現在、拡大コピーや行間を広げるなどの支援を行っているが、拡大教科書の使用により、より学習効果の向上が期待できることから、その使用を希望するものである。	

児童名	学年	教科	文字サイズ	理由	備考
F	5 年	国・書・社 算・理・音 図・家・保 英・道	22pt	現在は、大阪医科大学附属病院にてビジョントレーニングを行っている。また、学校や家庭では、拡大教科書を使用すること以外に、教科書にルビを打ったり、拡大コピーをしたりするなどの支援を行っている。拡大教科書の使用により、一定の学習効果が得られていると考えられることから、引き続き拡大教科書の使用を希望するものである。	
G	3 年	理	30pt	カナー型自閉症で療育手帳B 1 を取得している。文字を書くことの課題は大きい、読むことは課題が少ない。しかしながら、通常サイズの教科書では文字が小さく学習意欲の向上につながらないことから、現在では拡大コピーによる対応を行っている。拡大された図や写真を示したところ学習の意欲を持ったことから、本児の興味関心が高い理科で拡大教科書を使用することで、より学習効果の向上が期待できると考え、使用を希望するものである。	
H	5 年	国・社・算 理・英	26pt	LDセンターの医師による視機能検査の結果、発達性のディスレクシアと診断された。現在は、拡大教科書に加え、デジタル機器や拡大コピーなども活用しており、一定の学習効果が得られていると考えられることから、引き続き拡大教科書の使用を希望するものである。	

生徒名	学年	教科	文字サイズ	理由	備考
i	3 年	国・英	22pt	眼球運動に課題があり、現在も国語と英語で拡大教科書を使用して学んでいる。引き続き、拡大教科書を使用することにより、更なる学習効果が期待できるため。	
j	1 年	国・社・数理・英・道	18～22pt	堺清恵会LDセンターにおいて、読み書きスクリーニングに関するアセスメントを受けた結果、単語の速読力や音読力、形合わせ力、形うつし力が低く、小さな文字で書かれている文章を読んで内容を理解することが困難であると判明した。また、WISC-IVの検査結果からも、眼球運動の課題から、特に縦書きの文章読解に困難があることも判明した。これらのことから、引き続き、拡大教科書を使用することにより、更なる学習効果が期待できるため。	
k	1 年	国・社・数理・英・道	22pt	本生徒は、小さな文字や画数の多い漢字を正確に把握することに困難さがみられる。また、視力が低く眼孔も狭いために、微細な作業や描画が困難である。WISC-IVやK-ABCの検査結果からも、先述と同様の困難さがみられたことから、拡大教科書の使用により、学習効果の向上が期待できることから、その使用を希望するものである。	
l	1 年	国・社・数理・英・道	22pt	本児は注意力や集中力が散漫になりやすく、周囲からの刺激に惑わされやすい。文章を読む際も、誤読や読みとばしをしてしまうこともある。現在、眼鏡を使用しているが、本生徒の視力・視機能の課題を勘案し、より学習効果の向上が期待できると考え、拡大教科書の使用を希望するものである。	
m	3 年	国・社・数理・英・道	22pt	大阪医科大学附属LDセンターにて眼球運動及び視知覚に課題が認められ、学校ではスリット等を活用した個別の学習支援を行っている。3年生になり、学習内容がさらに複雑になることから、本生徒の視機能課題に配慮した拡大教科書を使用することで、より学習効果が期待できるため。	